

総 括 事 項

1. 名称・所在地

高知県水産試験場

高知県須崎市浦ノ内灰方1153-23

電 話 : 088-856-1175

E mail : 050109@ken.pref.kochi.lg.jp

F A X : 088-856-1177

H P : <http://www.pref.kochi.jp/~sangi/suishi/>

交通機関 : JR 高知駅 (高知市) から高知県交通バス宇佐行き乗車、宇佐終点から徒歩 10 分

2. 沿 革

明治34年	県庁内に設立
35年	須崎町に新庁舎建設し移転
大正9年	講習部新設
昭和元年	無線電信陸上局新設
19年	講習部廃止
21年	南海地震により庁舎一部破損、備品類大部分を流失
29年	15号台風により庁舎全壊
30年	庁舎新築
43年	幡多郡大月町古満目に実験室設置
46年4月	須崎市浦ノ内灰方に庁舎新築移転
46年4月	大月町古満目に試験地設置
48年4月	大月町古満目に実験所設置
53年3月	土佐市宇佐町竜に無線局移転
57年4月	無線局業務を須崎無線漁業協同組合へ移管
58年1月	海洋開発調査船「土佐丸」竣工
58年4月	栽培漁業センターの設置に伴い古満目実験所を廃止、大月町に貸与
61年3月	海洋漁業調査船「土佐海洋丸」竣工
61年7月	皇太子殿下 (平成天皇) 行啓
平成3年2月	海洋漁業センター新築
9年4月	機構改革により、5課 (科) 体制が4課 (科) 体制となる
10年4月	機構改革により、産業技術委員会事務局へ移管
15年12月	海洋開発調査船「土佐丸」廃船
17年4月	機構改革により、4課 (科) 体制が3課 (部) 体制となる
17年9月	横浪林海研究交流センターの設置
19年4月	機構改革により、3課 (部) 体制が3課 (課) 体制となる

5. 平成19年度当初予算

(単位:千円)

事業名	予算額	うち	
		国庫 支出金	受託 事業収入
水産試験場管理運営費	14,363		
水産試験場施設整備費	11,495		
水産業試験研究費	104,088	855	14,167
中層魚礁の漁獲効果に関する研究	1,451		
地域レベルでの漁海況情報の提供	2,814	855	
資源評価調査委託事業	8,167		8,167
日本周辺高度回遊性魚類資源調査委託事業	4,600		4,600
ブリ資源有効利用に向けた回遊履歴の解明	1,000		1,000
調査船運航事業	65,957		
白点病発生予測のためのモニタリング及びシストの検出方法の確立	388		
里海づくりを目指した藻場再生手法の確立	927		
遺伝学的・生態学的手法によるヒラメ放流技術開発と効果把握	1,471		
メジカ煮汁濃縮液を用いた養魚用飼料の開発	1,200		
カンパチの肉質改善及び抗病性の向上研究	1,500		
水産試験場技術支援事業費	1,609		400
水産業試験研究費	13,004		
科学技術共同研究費	1,842		550
大学等連携促進研究			
マダイのエドワジェラ症に有効なワクチン開発	1,292		
地域コンソーシアム研究開発事業費			
海水スラリーアイスによる氷温貯蔵システムの開発	550		550
合 計	131,788	855	14,717

<参考>

水産試験場予算額の推移

年 度	金 額(千円)	対前年比(%)
平成元	223,770	101.2
2	266,484	119.1
3	260,752	97.8
4	255,221	97.9
5	249,316	97.7
6	255,431	102.5
7	245,621	96.2
8	258,425	105.2
9	259,376	100.4
10	240,965	92.9
11	206,537	85.7
12	216,315	104.7
13	215,814	99.8
14	206,028	95.5
15	185,881	90.2
16	141,467	76.1
17	141,753	100.2
18	128,976	91.0
19	131,788	102.2

6 成果の広報

1) 学習会、講習会の実績

年月日	講演者	講演内容	会議、研修会等名称	開催場所	対象機関・組織
平成19年4月21日	梶 達也	ブリ、マイワシ、サバ類、メジカ資源の動向	以布利、窪津合同役員会	土佐清水市	以布利、窪津大敷組合
平成19年5月19日	梶 達也	ブリ、マイワシ、サバ類、メジカ資源の動向	幡多定置漁業振興会	土佐清水市	幡多地区大敷組合長、先長
平成19年6月6日	柳川 晋一	カツオとその漁業について	都市と漁村の交流 in 朝倉第2	高知市	高知市立 朝倉第2小学校
平成19年7月4日	柳川 晋一	カツオとその漁業について	都市と漁村の交流 in 伊野南	高知市	いの町立 伊野南小学校
平成19年7月13日	梶 達也	ブリはどこから来て、どこへ行くのか？ ～高岡で放流したブリからわかること～	平成19年度芸東地区沿岸漁業協議会・芸東地区漁村青年協議会	室戸市	芸東地区漁業者、漁協関係者
平成19年8月27日	梶 達也	平成19年度下半期の漁海況予報	宿毛湾漁協まき網部会	宿毛市 指導所	宿毛湾まき網部会
平成19年9月11日	柳川 晋一	カツオとその漁業について	都市と漁村の交流 in 一宮東	高知市	高知市立 一宮東小学校
平成19年10月2日	柳川 晋一	カツオとその漁業について	都市と漁村の交流 in 横浜新町	高知市	高知市立 横浜新町小学校
平成19年10月12日	梶 達也	カツオの生態	都市と漁村の交流 in 横内	高知市	高知市立 横内小学校
平成19年10月30日	梶 達也	カツオの生態	都市と漁村の交流 in 旭	高知市	高知市立 旭小学校
平成20年1月15日	梶 達也	平成20年上半期の漁海況予報	宿毛湾漁協まき網部会	宿毛市 指導所	宿毛湾まき網部会
平成20年2月19日	梶 達也	ブリはいつ、どこを泳ぐのか？	平成19年度鈴共同大敷組合学習会	幡多郡黒潮町	鈴共同大敷組合員
平成20年2月22日	梶 達也	ブリはどこから来て、どこへ行くのか？	平成19年度(第46回)高知県定置研修会	高知市	高知県下大敷組合員
平成20年3月8日	新谷 淑生	メジカの資源・生態	メジカ学習会	土佐清水市	土佐清水市漁協 組合員ほか
平成20年3月28日	大河 俊之	ヒラメ放流技術開発 ～ヒラメ稚魚の食性について～	平成19年度栽培漁業協議会	高知市 北庁舎	栽培漁業協議会

2) 学会、研究会での発表

年月日	講演者	講演内容	学会、研究会等名称	開催場所
平成19年5月18日	田井野清也	ウニ類除去による藻場の再生	横浪研究交流センター研究報告会	横浪研究交流センター
平成19年9月19日	新谷 淑生	高知県西部海域におけるゴマサバノオ魚の加入について	黒潮の資源、海洋研究会	高知市
平成19年9月19日	大河 俊之	マイクロサテライトDNA分析からみた北西太平洋日本南岸域キンメダイの集団構造	黒潮の資源、海洋研究会	高知市
平成19年9月20日	柳川 晋一	高知県海域におけるテンジククダチ <i>Trichurus sp.2</i> の若干の漁業生物学的知見とタチウオ <i>Trichurus japonicus</i> との形態比較	黒潮の資源、海洋研究会	高知市
平成19年9月25～28日	本多正樹・田井野清也・林芳弘	土佐湾田野浦地先に現存するカジメ群落へのムラサキウニ放流適正量の推定	平成19年度日本水産学会秋季大会	北海道大学水産学部
平成19年10月17～19日	田井野清也	高知県におけるカジメ・クロメの藻場造成	カジメ属の生態と藻場造成	鳥根県隠岐郡海士町
平成19年11月13日	田井野清也	ウニ類除去による藻場の再生	平成19年度瀬戸内海ブロック水産業関係研究開発推進会議生産環境部会・栽培資源部会合同部会藻類情報交換会	広島県広島市
平成20年2月3日	田井野清也・田中幸記ほか	高知県西部海域における藻場の分布と変遷	第5回亜熱帯性ホムダワラ属藻類の分類に関するワークショップ	鹿児島県指宿市岩本
平成20年2月22日	田井野清也	ウニ類除去による藻場の再生	平成19年度横浪研究交流センター成果報告会	鹿児島県水産技術開発センター 池ノ浦漁業協同組合
平成20年3月22～23日	田井野清也・林 芳弘	ウニ類除去によるトゲモク群落の再生	日本藻類学会第32回大会	東京都港区(東京海洋大学)
平成20年3月22～23日	田中幸記・田井野清也ほか	高知県西部海域における藻場の分布と季節変化	日本藻類学会第32回大会	東京都港区(東京海洋大学)

3) 成果報告、パネル展示等

年月日	講演者等	講演内容	学会、研究会等名称	開催場所
平成20年1月24日	大河 俊之	関東・高知・沖縄のキンメダイは同じグループ — 太平洋沿岸で漁獲されるキンメダイの集団構造 —	産業技術部主催 研究成果展示会	高知市 高知城ホール
平成20年1月24日	梶 達也	おらんくの海でも温暖化? ～調査船が明らかにした土佐湾における表面水温の上昇～	産業技術部主催 研究成果展示会	高知市 高知城ホール

4) 投稿論文・執筆等

発行年月	著者	題名	投稿学会・書籍名等	備考
平成19年4月	新谷 敏生	クロマグロの移動回遊	暮らしと農業 第21巻2号 p36-37	
平成19年4月	田井野清也	浦ノ内湾におけるアサリの不良原因を探る	暮らしと農業 第21巻2号 p34-35	
平成20年2月	寺脇敏信・田井野清也ほか	三浦半島小田和湾におけるコアモおよびタチアママモ群落の季節的変化	海苔と海藻 第78巻第 p11-18	
平成20年3月	渡邊 貢・山本 貞夫ほか	カンパチ稚魚のエネルギー要求量	水産増殖 第56巻第1号 p113-116	日本水産増殖学会
平成20年3月	渡邊 貢・山本 貞夫ほか	カンパチ稚魚に対する適正給餌法	水産増殖 第56巻第1号 p117-120	日本水産増殖学会

7 研究会、シンポジウム等の開催

年 月 日	イ ベ ン ト 名 称	場 所	人 数
平成20年2月8日	水産技術報告会	海洋漁業センター	20名

8 研修・見学等の受け入れ

1) 水産試験場本館

年 月 日	受 け 入 れ 者	人 数
平成19年7月2日	丸亀地区水産振興対策協議会	17名
平成19年7月4日	吾桑小学校	17名 (引率2名含)
平成19年7月12日	土佐山中学校	19名 (引率3名含)
平成19年8月27日 ～9月7日	企業実習 高知工科大学 3回生	1名
平成19年9月15日	東京都八丈町・八丈島漁協役員	7名 (引率2名含)
平成19年9月25日	JICA研修(栽培漁業コース)	9名 (引率1名含)
平成19年9月28日	JICA研修(栽培漁業コース)	9名 (引率1名含)
平成19年10月19日	土佐山田小学校	105名 (引率4名含)
平成19年11月22日	JICA研修(マダカスガル)	6名 (引率2名含)
平成19年12月3日 ～7日	企業実習 高知大学 4回生	1名
合計		191名

2) 横浪林海研究交流センター

年 月 日	受 け 入 れ 者 (内容等)	人 数
平成19年5月18日 ～19日	京都大学フィールド研、高知大学黒潮研等 (研究報告会及び研究者現地交流会)	20名
平成19年7月21日	高知大学農学部1回生 (シュノーケリング訓練を 主体としたフィールドサイエンス実習)	28名
平成19年7月29日	大阪府立高津高等学校(同上)	22名
平成19年8月3日	JICA研修生(同上)	8名
平成19年8月25日	高知新聞社文化教室「自然に学ぶ森里海連環学」 野外教室	20名
平成19年11月15日 ～16日	牧野植物園(沿岸林に群生するタイミンタチバナ の成分解析等)	4名
平成19年12月11日 ～14日	牧野植物園(沿岸林に群生するタイミンタチバナ の成分解析等)	4名
平成20年2月22日	池ノ浦漁協、京都大学フィールド研、高知大学黒 潮研、水産試験場ほか(研究報告会)	49名
合計		155名